

## 【韓国】「徴用関連施設」の世界遺産登録推進を糾弾する決議の採択

九州大学韓国研究センター助教 菊池 勇次

(本稿は、海外立法情報課が執筆を依頼したものである。)

\* 2015年5月12日、韓国国会本会議において、日本政府による「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産への登録推進を糾弾し、過去に対する心からの反省等を求める「日本政府による朝鮮人強制徴用施設のユネスコ世界遺産登録推進を糾弾する決議」が全会一致で採択された。

### 1 背景及び経緯

2015年4月9日、最大野党・新政治民主連合の李元旭（イ・ウォヌク）議員が「日本政府による朝鮮人強制徴用施設のユネスコ世界文化遺産登録推進を糾弾する決議案」を代表発議した。李議員は、同決議案の提案理由において、「明治日本の産業革命遺産」には朝鮮人を強制徴用した施設が含まれており、日本は世界遺産登録を通じ、侵略戦争を自国の産業発展のための土台として美化し、軍国主義を復活させようとする意図があるとして、糾弾の必要性を主張した。

同決議案は、2015年4月22日の外交統一委員会全体会議に上程され、積極的な外交部の対応と議員外交の活用を求める意見等が出された後、同委員会法案審査小委員会に付託された。同小委員会では、5月4日の会議で審査が行われ、同委員会首席専門委員から、国際社会に大韓民国国会の断固たる意思を伝える内容を主文に追加する必要があるとの意見が出され、修正案が提示された。政府の見解を尋ねられた趙兌烈（チョ・テヨル）外交部第2次官は、決議案の趣旨に全面的に同意し、修正案に異議はない旨答弁した。その後、外交部の対応に関する質問が続き、決議案の内容については質問が出ることなく、修正案が可決された。

修正案では、世界遺産委員会に慎重な判断を求める主文3が追加され、決議の題名等にある「世界文化遺産」を「世界遺産」に改めたほか、徴用が行われた施設数等の事実関係の訂正や、産業革命遺産を「戦争の産物」と規定していた部分を徴用と関連した内容に変更する等の修正がなされた。小委員会終了後、直ちに開かれた同委員会全体会議では、特に質問が出ることなく可決され、5月12日の本会議においても、決議案の内容に関する質問は出ず、全会一致で採択された。

その後、イリナ・ボコバ（Irina Bokova）ユネスコ事務局長が訪韓すると、5月20日に朴槿恵（パク・クネ）大統領や鄭義和（チョン・ウィファ）国会議長等がボコバ事務局長と相次いで会い、登録に慎重な姿勢を求めた。特に朴大統領は面談の席で、「日本が一部施設で非人道的な強制労働がほしいままに行われた歴史を無視したまま世界遺産への登録を申請したことは、世界遺産条約の精神にたがい、国家間の不必要な分裂を招くものだ」と強調した（以下筆者翻訳。[]内は筆者補足）。

## 2 決議の全文

### 主文

大韓民国国会は、2014年1月、日本政府がユネスコ世界遺産センターに登録を申請した「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」23か所中7か所が朝鮮人強制徴用施設であることについて、これは同施設において非人間的な強制労働がほしいままに行われたという事実を無視したまま、産業革命の遺産として美化する行為になり得るという点から、これを強く糾弾し、

これは人類の普遍的遺産の価値を帯びる世界遺産を保護する世界遺産条約の基本精神にも反するものであり、自国の産業発展を広報するために植民地支配と侵略戦争の傷跡が残る施設の文化遺産登録を推進し、我が国民の苦痛を増幅させている日本を糾弾し、

今は自国の産業革命の遺産を広報し、称えることよりも、過去の侵略戦争に対する賠償と責任を尽くし、世界平和のための一歩を通じ、国際社会の一員として努力を尽くすべき安倍政権に対して厳重に警告し、次のとおり決議する。

1. 大韓民国国会は、2014年1月、日本政府が朝鮮人徴用施設7か所を含む23か所をユネスコ世界遺産に登録申請し、今年度の世界遺産委員会で登録を推進していることについて、これを北東アジアの平和と安定に深刻な否定的影響を及ぼす外交的挑発行為と規定し、強く糾弾する。
2. 大韓民国国会は、日本政府が申請したユネスコ世界遺産登録施設のうち7施設において、計57,900名の我が国民が強制動員されたものと把握されている状況において、これは日本の侵入により行われた痛恨の歴史を産業革命として美化し、苦痛の中で犠牲になった我が国民を愚弄する振る舞いであり、日本政府による心からの反省と責任ある姿勢が先行しなければならないと強く警告する。
3. 大韓民国国会は、世界遺産委員会が人類の普遍的遺産の価値を帯びる世界遺産を保護する世界遺産条約の基本精神を尊重し、日本政府が登録を推進しようとする施設の世界遺産登録決定において、慎重を期するよう丁重に要請する。
4. 大韓民国国会は、日本政府が時代錯誤なユネスコ世界遺産登録推進を通じて自国による植民地支配を美化することに対し、我が政府が断固たる意思をもって厳重に対処することを求め、[韓国政府が]我が国民の公憤を込めた大韓民国国会の決議を尊重し、日本政府を糾弾し、外交的努力を通じて日本が過去の侵略の歴史を否定することが再発しないよう是正することを求める。

参考文献（インターネット情報は2015年6月19日現在である。）

- ・「일본 정부의 조선인 강제 징용 시설의 유네스코 세계문화유산 등재 추진 규탄 결의안」  
<[http://likms.assembly.go.kr/bill/jsp/BillDetail.jsp?bill\\_id=PRC\\_F1O5X0K4R0K9Y1J5Z4P8J2D5C6S5Z2](http://likms.assembly.go.kr/bill/jsp/BillDetail.jsp?bill_id=PRC_F1O5X0K4R0K9Y1J5Z4P8J2D5C6S5Z2)>
- ・「제 332 회국회(임시회) 외교통일위원회회의록(법안심사소위원회)(임시회의록) 제 3 호」  
<<http://likms.assembly.go.kr/record/index.html>>から
- ・「대통령, 「이리나 보코바」 유네스코 사무총장 접견」  
<<http://www1.president.go.kr/news/newsList.php>>から